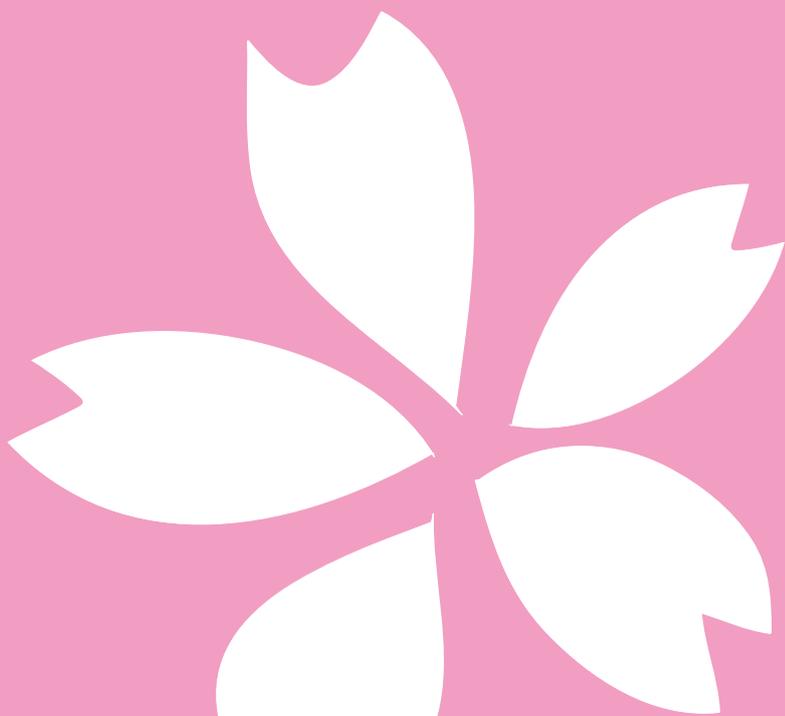


分析センター 検査室 ニュース

2023年春号



特集・検査データ

女性農業従事者の

尿中ネオニコチノイド系農薬調査

お知らせ

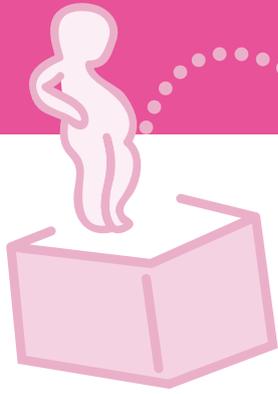
遺伝子組換えメダカ、不正販売、廃棄で逮捕者
目指したい！1000人サポーター

最近の話題

遺伝子組換えメダカが、不正販売と廃棄で、初の逮捕者
調査の中間報告・遺伝子組換え綿、うっかり栽培していませんか
尿中のグリホサート検査の開発終了、受付開始

一般社団法人
農民連食品分析センター
電話 03-5926-5131
power8@nouminren.ne.jp
<http://earlybirds.ddo.jp/bunseki/>





尿中ネオニコチノイド系農薬調査結果 2023

はじめに

分析センターでは、消費者を対象に尿中のネオニコチノイド系農薬(以下、ネオニコ)の調査をおこなってきました。これまでに200人を越える人の尿を調べた結果、ほぼ全てからネオニコが検出されるということを確認してきました。

では、農産物を生産する際に、直接農薬を散布する作業がある農家では、一般の消費者より尿中のネオニコ濃度が高くなる状態にあるのでしょうか。農業従事者の尿について農薬の暴露状況を調べた日本の研究は少なく、実態はよくわかっていません。そこで、農民連女性部の協力を得て、女性農業従事者の尿中ネオニコ調査をおこないました。

どんな検査？

33道府県の農業に従事する女性67名から68検体の尿を提供いただいて検査を実施しました。平均年齢は67歳で、最も年齢が若い人は35歳、最も高い人は90歳でした。農業従事年数は、平均34年で、最も長い人は70年、最も短い人は5年でした。

誰が出たの？出なかったの？

ネオニコ系農薬7成分、類似農薬7成分、代謝物1成分を対象に検査を実施したところ、68検体全てからいずれかの成分が検出されました(表1)

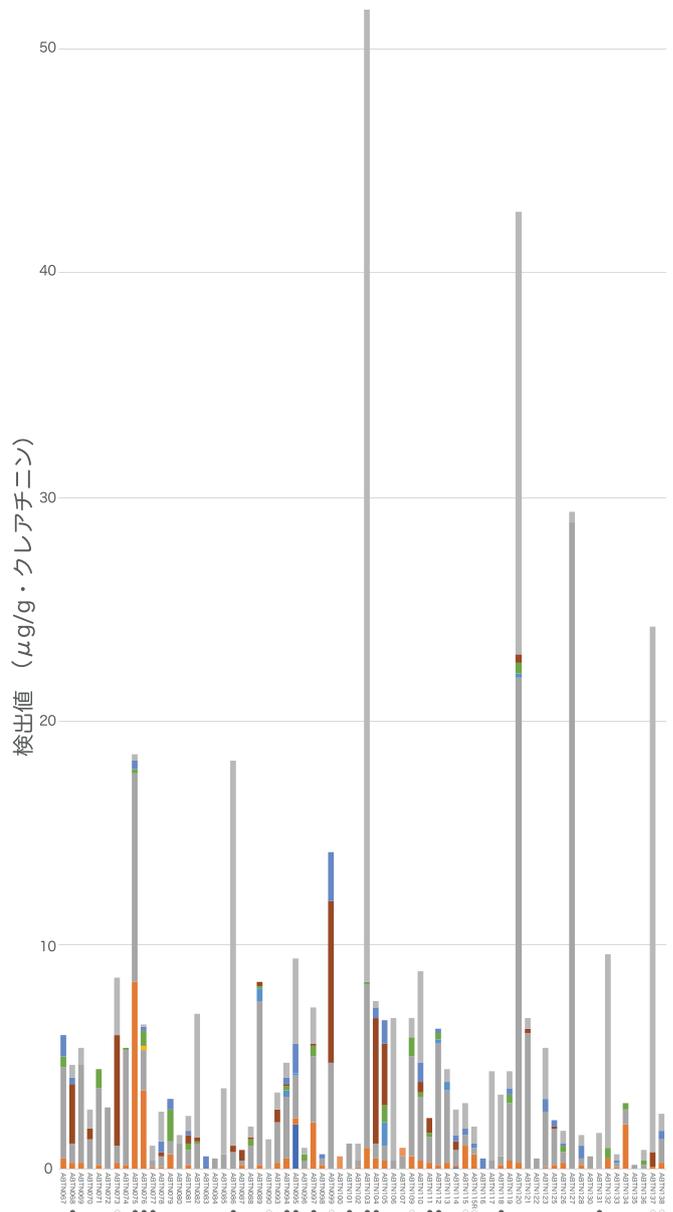
出荷量も検出率もNo.1ジノテフラン

最も検出率が高かったネオニコはジノテフランでした。9割の人から検出されています。ジノテフランは、スタークルなどの名称で販売、最も出荷量の多いネオニコです。検出率の高さは、そういった背景が影響していると考えられます。

表1

■ アセタミプリド	■ クロチアニジン	■ ジノテフラン
■ ニテンピラム	■ イミダクロプリド	■ チアメトキサム
■ チャクロプリド	■ スルホキサフロ	■ トリフルメゾピリム
■ クロラントラニプロール	■ エチプロール	■ フィプロニル
■ フロニカミド	■ フルピラジフロ	■ N-デスマチルアセタミプリド

● : ネオニコ系農薬使用者
○ : ネオニコ類似使用者



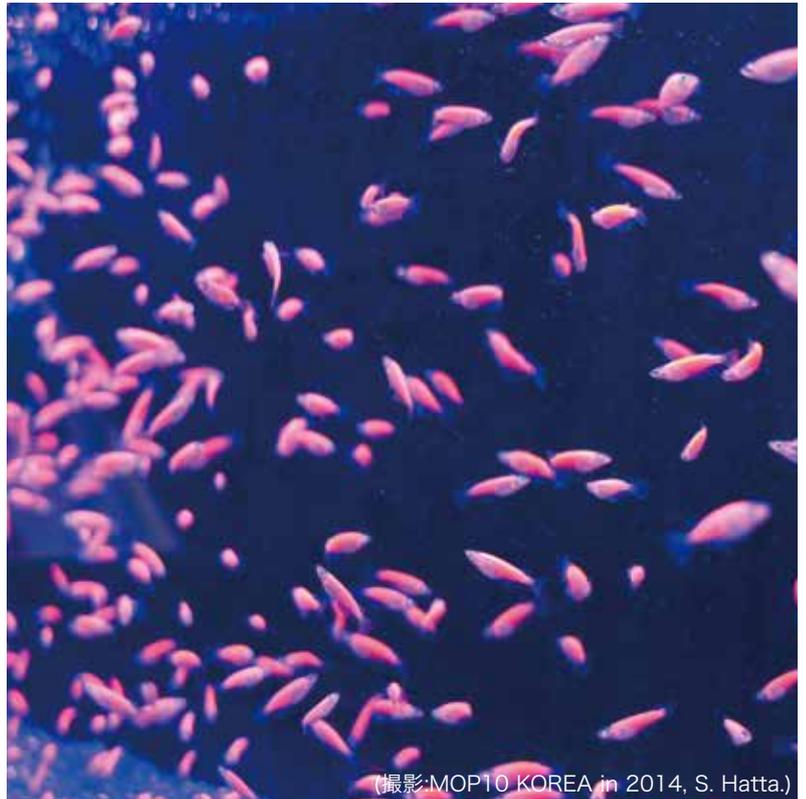
遺伝子組換えメダカを不法に販売し、初の逮捕者 用水路に捨てたとも

2023年3月、試験研究以外の用途が認められていない遺伝子組換えメダカを大学からこっそりと持ち出し、横流しをしていた元大学生とそのメダカを飼育、販売していた愛好家など8人が逮捕されるという事件が起きました。カルタヘナ法違反で逮捕者が出るのは初めてのことです。このメダカは、特定の明かりを当てると蛍光を発するように、イソギンチャクモドキという生きものの遺伝子が組み換えられたものです。水槽のなかで、鮮やかな赤色に輝くように体を変えられています。

厄介なのは、逮捕者の1名が、警察の取り調べに対して、「九十九里の用水路において(中略)、約20匹を破棄し、」と供述していることです。

アメリカフロリダ州では、同様の遺伝子組換えゼブラフィッシュが河川に放流されてしまい、自然界に定着、問題になっているという報告があります。日本でも起きないかが心配されます。

分析センターでは、このメダカが不適切に流通されていないか、自然界に流出していないか調査の準備をしています。みなさんからの情報提供もお待ちしております。



(撮影:MOP10 KOREA in 2014, S. Hatta.)

*写真は、同系統の蛍光遺伝子を組み込まれた遺伝子組換えメダカ

調査の中間報告 - 遺伝子組換え綿、うっかり栽培していませんか？ -



誤って栽培されていた遺伝子組換えワタ。体内に殺虫毒素を作る。

遺伝子組換え綿は、国内での栽培が認められていません。しかし、2018年に分析センターが、調査をおこなったところ、遺伝子組換えワタと知らずに栽培をしてしまっている人がいることがわかってきました。綿の種は、一般向けにほとんど販売されていません。このため、既に栽培をしている人から分けてもらったり、家畜の餌に混ざっていた綿実を使ったり、海外に出かけたときに不適切に持ち込んだ種を蒔いたりしている人がいるようなのです。

2022年、この問題の調査を再開したところ、九州のイベントで販売されていた種から見つかる例がありました。データは、次号をお待ち下さい。

遺伝子組換え綿は、虫がかじると死ぬ殺虫毒素を作るように、特許で守られた遺伝子が組み込まれています。分析センターでは、知らずに栽培をしている方が被害に遭わないように、これまでに農水省と環境省に対応を求めてきましたが、積極的な対策を行ってくれません。綿栽培は、5月から本格化しますが、栽培前に今一度種を確認してみてください。真っ白で上向きに大きな綿ができるタイプは要注意です。不安な場合は、センターに相談してください。また栽培について情報提供もお待ちしております。

「尿中のグリホサート検査」の開発終了 まもなく検査受付開始

尿中のネオニコ系農薬検査に加え、新たに「尿中のグリホサート検査」の試験開発が完了しました。5月からデトックス・プロジェクト・ジャパンを窓口受付開始の予定です。食品や環境などからグリホサートに暴露しているか知ることができます。是非、検査をご利用下さい。

	検査結果		検査結果
A家族妻	検出なし	B家族9歳	検出あり
A家族夫	検出あり	B家族7歳	検出あり
Cさん	検出なし	Iさん	検出あり
Dさん	検出なし	Jさん	検出あり
Eさん	検出なし	Kさん	検出あり
Fさん	検出なし	Lさん	検出なし

表 尿中グリホサート検査プレテストに参加した人の測定結果
50%の人から検出が認められている

分析センター検査室ニュースは、分析センターサポーター会員(年会費5,000円)にお届けしているものです。購読希望の方は是非、ご登録ください。バックナンバーはWebからも入手できます。